

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
103 118	歴史総合	2	1	総合学科 工業科	必修

履修条件、選択上の留意事項等

科目の目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方により、課題を追求したり解決したりする活動を通じて、広い視野から、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家の形成者に必要な資質能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的日本を相互的に捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技術を身に付ける。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、相互の関連、現代とのつながりに着目し、概念を使って多面的に考察し、歴史上の課題を視野に入れて構想する力、構想したことを効果的に説明し、それを基に議論する力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を意識して課題を主体的に追求し解決する態度を養うとともに、多面的な考察や深い理解によって養われる国民としての自覚を持ち、自国の歴史に対する理解、他国と他国の文化を尊重することの大切さを学ぶ。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的に理解し、諸資料から情報を効率的にまとめる技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、意味や意義をとらえ、相互の関連、現代とのつながりに着目し、概念を使って構想し、その構想について説明し議論する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を意識して、課題を主体的に追求し解決しようとする態度が身に付いている。
評価の方法	
記述内容の点検、確認、分析 行動態度の観察、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポート、ノート・プリント等提出物、授業への取組状況 等)	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	歴史の扉	歴史の特質と資料	資料の特質を理解し、内容を適切に読み取れている。 異なる資料を比較し、関連付けすることができる。	○		
	5	近代化と私たち	近代化への問い	知識や学習内容を主要な項目と結びつけている。 主要な項目に基づいて資料等を使って課題を解決できる。		○
江戸時代の日本と結びつく世界			江戸時代の日本と周辺地域、世界との関連を適切に理解している。 この時代の日本や周辺地域、アジア諸国の成熟と変化を資料とも合わせて捉えるとともに、それぞれの特質や多様性を表現できる。 ヨーロッパ進出による世界の一体化についての課題を探究できる。	○		○
欧米諸国における近代化		欧米における近代市民革命の経緯や特質を理解するとともに、政治的・社会的・文化的な意義を考察できる。 市民革命の拡大による近代的国際社会(体制)の形成を理解している。 産業革命の経緯を理解し、意義を考察するとともに、それによる世界の経済体制の形成について課題を追求し解決できる。	○		○	
		近代化の進展と国民国家形成	19世紀のヨーロッパ諸国の近代化の進展を理解し、ナショナリズムの形成と国際関係の複雑化について課題を解決できる。 アメリカ合衆国の発展と第2次産業革命の進展を理解している。 帝国主義の進展と移民の拡大について、その意義を考察できる。		○	
6	アジア諸国の動揺と日本の開国	ヨーロッパ諸国の西アジア・東南アジア・南アジア・東アジアへの進出について全体的な理解ができ、意義も考察できる。 日本の開国と幕府滅亡を国内外のさまざまな視点から説明できる。 この時代の世界の動きについて資料から課題を解決できる。	○			
		近代化が進む日本と東アジア	日本の新政府成立を通じて、近代化の経緯と意義を理解している。 近代日本の外交と日清戦争・日露戦争について、その原因と展開について筋道を立てて理解するとともに、戦争回避と平和維持のための課題を追求し、解決できる。 日露戦争が日本と世界に与えた影響を適切に考察できる。	○		○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	国際秩序の変化や大衆化と私たち	生活・文化から見る日本と世界	江戸後期の日本と世界の生活・文化を資料から理解している。	○		
			明治時代の日本と世界の生活・文化の交流について考察できる。		○	
		国際秩序の変化や大衆化への問い	知識や学習内容を主要な項目と結びつけている。	○		
			主要な項目に基づいて資料等を使って課題を解決できる。			○
		第一次世界大戦と日本の対応	第一次世界大戦前と大戦中、終戦時でのヨーロッパ各国の国際関係の形成と変化について、資料も活用しながら理解している。	○		
			総力戦についてさまざまな視点から学習し課題を解決できる。			○
			ロシア革命の背景や経緯から影響まで総合的に考察できる。		○	
		国際協調と大衆社会の広がり	ヴェルサイユ体制によって生まれた国際協調について、主要国を中心に、その実情と限界を理解しながら意義について考察できる。		○	
			民族自決の運動が東アジア・南アジア・東南アジア・中東でどのように展開し、どのような問題を抱えていたのかを理解している。	○		
			アメリカと日本の大衆社会の形成について、課題を探究している。			○
10	日本の行方と第二次世界大戦	世界恐慌以降、第二次世界大戦終結までの日本の状況とその変化を、資料を参考に、世界との関わりの中で考察し、判断できる。		○		
		世界恐慌から第二次世界大戦までの世界各国の状況を理解している。	○			
		戦争の惨禍を理解し、平和を実現への課題を探究している。			○	
		再出発する世界と日本	今日につながる戦後の新国際秩序について、課題を探究している。			○
		戦後世界の構造を決定した冷戦について、背景や経緯、影響を踏まえた上で、その意義やさまざまな問題点を考察し、判断できる。		○		
		戦後の日本近隣の東アジアと日本の新国家形成について理解している。	○			
	生活・文化から見る日本と世界	戦中期の日本の生活・文化を軍国主義の台頭を背景に理解し、平和を維持するために何が必要だったかを理解している。	○			
11	グローバル化と私たち	グローバル化への問い	知識や学習内容を主要な項目と結びつけている。		○	
			主要な項目に基づいて資料等を使って課題を解決できる。			○
12	冷戦で揺れる世界と日本	冷戦におけるアメリカ・ソ連の関係を緊張と緩和という観点で考察できる。この時、核兵器のあり方について判断できる。			○	
		冷戦下での日本の復興について、その課題を追求し解決できる。			○	
		冷戦下のアジア・アフリカについて、第三世界形成・脱植民地化、中東情勢・パレスチナ問題の背景と経緯を理解し、考察している。	○			
		多極化する世界	冷戦中、70年代に低迷するアメリカ、80年代に行き詰まるソ連の状況を、背景・経緯、影響まで理解し多極化について考察できる。		○	
		冷戦下で「経済大国」となった日本の課題を追求し解決できる。			○	
		冷戦下で発展するアジア・南米、イスラーム諸国を理解している。	○			
1	グローバル化のなかの世界と日本	冷戦終結の背景・経緯を理解し、世界各国に与えた影響、中東情勢の複雑化と超大国アメリカとの関係を資料から理解している。		○		
		国際環境の変化の中で日本の政治・国際関係を考察できる。		○		
		グローバル化による国際社会の特質を理解し課題を探究している。			○	
		生活・文化から見る日本と世界	高度経済成長期の日本の生活・文化をさまざまな分野から捉え、一億総中流社会と呼ばれる状況について課題を解決できる。			○
2	これまでの学習の振り返り	資料の読み解き・比較・関連付けている。	○			
		情報の集め方・まとめ方がわかり実践できる。また、その情報を整理し、判断して意見交換している。			○	
		レポートや小論文の書き方がわかり、課題を追求し解決できる。			○	